



あなたの地域の

「地域包括支援センター」

相談無料
秘密厳守

「地域包括支援センター」は、65歳以上の高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていけるように、介護・福祉・保健・医療などのさまざまな関係機関と協力しながら高齢者のみなさんを支えています。色々な相談ごとを解決に向けて取り組み、日常生活全般にわたって「包括的」に高齢者の生活をバックアップしています。

どんなことを相談できるの?

保健師または看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの保健や福祉の専門職が、「チーム」で相談に応じています。大阪市からの委託を受けて運営しています。個人情報適切に管理し保護しますのでご安心ください。



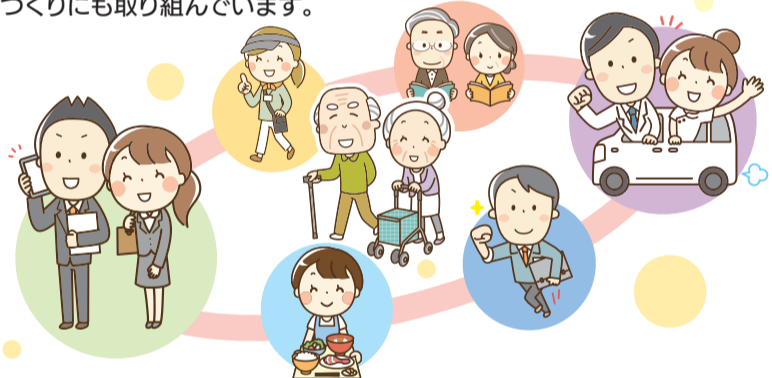
どんなことをしてるの?

- ① なんでも相談を受け、適切な関係機関と協力し問題解決を図ります。
- 介護が必要な状態と把握した場合は、介護保険の申請やケアマネジャーに引継ぎ、訪問ヘルパーなど在宅サービスの導入ができるように調整します。
 - 認知症の介護方法を一緒に考え、必要に応じ主治医へ連絡しながら適切なサービスを調整します。

- ② みなさんの権利を守ります。
- ご自身で決めることが難しくなった時に備えて、お金の管理や書類の手続きなどの心配ごとを一緒に考え整理していきます。
 - 安心して生活できるように、高齢者虐待や消費者被害を防ぐ取り組みをおこなっています。

- ③ 地域の関係機関と連携して支えます。

ケアマネジャーへの支援を行い、地域の関係者、区役所、医療機関、介護サービス事業所などさまざまな関係機関とのネットワークづくりにも取り組んでいます。



例えば...

「あれ?」「どうしたのかな?」という小さな気づきが支援につながる1歩です。気になる様子があればお住まいの「地域包括支援センター」「ランチ」へ相談ください。

高齢者ご本人の様子

- 季節に合わない服装をしていたり、服が汚れている。
- 入浴できていないように見える。
- 最近やせてきたり、具合が悪そうに見える。相談していればいいけど...
- 家事や買い物がつらい、食欲がない等本人が言っていた。
- つじつまの合わない話をしたり、同じ話を繰り返すようになった。

生活の様子

- 自宅に閉じこもりがちなのか、最近見かけなくなった。
- ゴミを上手く分別できなくなったり、ゴミを出さなくなった。
- 介護が必要な状態に見えるが、介護を受けていないようである。
- 家の中から怒鳴り声が聞こえる。
- 普段見かけない人が高齢者宅に出入りしている。
- 家族などの支援がないように見受けられる。



※ランチとは、より身近な相談窓口で、地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所です。どうぞご利用ください。

| 地域包括支援センター名 ランチ名 | 所在地(電話番号) | 担当する小学校区 | 開設時間 (祝日・年末年始を除く) |
|---------------------|----------------------|--|--------------------------------------|
| 大正区北部 地域包括支援センター | 北村3-5-10(6552-4440) | 三軒家西、三軒家東、泉尾北、中泉尾、北恩加島、泉尾東 (ランチは、三軒家西、三軒家東、泉尾北、中泉尾) | ●月曜日～金曜日 9時～19時 ●土曜日 9時～17時 |
| 大正区 地域包括支援センター | 小林西1-14-3(6555-0693) | 小林、平尾、南恩加島、鶴町 (ランチは南恩加島、鶴町) | ランチについては ●月曜日～金曜日 9時～17時30分 |
| 大正西ランチ(ビオスの丘) | 鶴町1-11-20(6555-6600) | | |